

氏名（ふりがな）：釜田 公良（かまだ きみよし）

英文表記：Kimiyoishi KAMADA

現職の所属・役職：中京大学経済学部教授，学部長

英文表記：Dean and Professor, School of Economics, Chukyo University

専門分野：公共経済学，財政学，家族の経済学

主たる研究テーマ：世代間所得移転政策と家族の行動

略歴（学歴・職歴）

1990年3月 名古屋大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学

1990年4月～1991年3月 名古屋大学経済学部助手

1991年4月～1993年3月 中京大学経済学部専任講師

1993年4月～2000年3月 中京大学経済学部助教授

2000年4月～ 中京大学経済学部教授

2000年12月 博士（経済学）名古屋大学

2011年4月～2017年3月 中京大学経済学部附属経済研究所長

2017年4月～2019年3月 中京大学経済学部副学部長

2019年4月～ 中京大学経済学部長

主たる著書・論文等（5点以内）：

“Altruism, Environmental Externality and Fertility,” *Environment and Development Economics*, 24, pp. 317-338, 2019.（共著）

“Altruism, Liquidity Constraint, and Investment in Education,” *Journal of Public Economic Theory*, 19, pp. 409-425, 2017.（共著）

“Bequest Motives and Fertility Decisions,” *Economics Letters*, 92, pp. 348-352, 2006.（共著）

“Government Transfers and the Samaritan's Dilemma in the Family,” *Public Choice*, 118, pp.77-86, 2004.（共著）

『世代間所得移転政策と家族の行動』、単著、勁草書房、2000年